

平成16年度 国土施策創発調査

従来型観光地での地域の魅力の再発見または創出と、
それを活かした集客力回復とまちの再構築に関する

調査報告書

(栃木県藤原町 鬼怒川温泉)

平成17年3月
国土交通省 関東運輸局
栃木県藤原町

はじめに

鬼怒川温泉は、首都圏を主なマーケットとして大きな集客力を誇ってきた。しかしバブル経済の崩壊やその後の長引く景気の低迷の中で、平成5年のピーク時には年間340万人であった宿泊客数は、平成15年には238万人まで減少し、バブル期に過剰投資を行った宿泊施設は多くの問題を抱えている。

さらに、宿泊施設内で旅を完結させる団体旅行者に支えられた成長だったことが、自然や文化などの地域特性を生かしたまちづくりに遅れを生じさせ、風情や雰囲気欠缺した温泉街を作り出している。また、県の主要金融機関である足利銀行の破綻・一時国有化による影響も懸念されている。

こうした状況に対して、藤原町では、地域再生計画を策定して各種支援措置の導入を図り、鬼怒川温泉の魅力を生かしたまちづくりを再生する各種事業を予定している。また、本調査と同時期に行われた都市再生モデル調査では、地域再生計画の目標像である福祉・癒し観光をテーマに、温泉観光地としての新たな魅力創出を目指している。さらに国レベルでも、産業再生機構等による個別の宿泊施設の改革が始動したところである。

このような状況を踏まえ、本調査は、鬼怒川温泉の再生に向けて、まちの魅力の再発見と創出、その魅力を生かした集客力回復やまちの再構築方策の検討を目的として実施された。

調査にあたっては、安島博幸教授（立教大学観光学部）を委員長に、学識経験者や地元代表で構成される委員会を設けるとともに、鬼怒川温泉に対する人々の評価や今後の温泉観光地に求められる資質を探るモニタリング調査、温泉街の活性化に向けた空店舗活用の社会実等のフィールドワークを行った。

委員会では、フィールドワークの結果等も踏まえながら、鬼怒川温泉の諸課題の要因とそれを解決するために当面行うべき施策のあり方を中心に議論が行われた。本報告書は、その結果を今後の観光・まちづくりの方向としてとりまとめたものである。

目次

■要約編

■本編（鬼怒川温泉再生に向けて）

I. 鬼怒川温泉の現状と課題	1
1. 鬼怒川温泉の成り立ち	1
2. 鬼怒川温泉の課題	1
3. 鬼怒川温泉に対する評価	6
II. 鬼怒川温泉再生の方向	9
1. 理念	9
2. 再生の方向	10
III. 鬼怒川温泉再生の方針と施策	13
1. 短期的な再生プログラムの確立とその実施体制の構築	13
2. マイナス要素の早期克服とプラス要素の持続的な強化（テーマ毎の施策）	16
3. 温泉街の分節によるきめ細かな施策の展開（地区毎の施策）	36
4. 継続的な情報収集とフォローアップ	59
■施策図	61

□資料編

資料1. 現状把握

- 1) 現状の整理
- 2) 地元最新情報の把握

資料2. フィールドワーク

- 1) モニタリング調査
- 2) 温泉街再生の社会実験とモデルスタディ

資料3. 調査実施体制

資料4. 会議記録

資料5. その他

■要約編

I . 鬼怒川温泉の課題	1
II . 鬼怒川温泉再生の方向	5
III . 鬼怒川温泉再生の施策	10
■ 施策図	15
■ 参考情報	17

■ 本編

I. 鬼怒川温泉の現状と課題	
1. 鬼怒川温泉の成り立ち	1
2. 鬼怒川温泉の課題	1
3. 鬼怒川温泉に対する評価	6
II. 鬼怒川温泉再生の方向	
1. 理念.....	9
2. 再生の方向.....	10
III. 鬼怒川温泉再生の方針と施策	
1. 短期的な再生プログラムの確立とその実施体制の構築	13
2. マイナス要素の早期克服とプラス要素の持続的な強化（テーマ毎の施策）.16	
2-1. 景観誘導の施策.....	16
2-2. 温泉街らしい賑わい・風情再生の施策	22
2-3. 遊休地・遊休施設の修復・活用の施策	26
2-4. 旅館ホテル改革の施策	30
2-5. 広域交流促進の施策.....	32
2-6. インフォメーション機能充実の施策.....	35
3. 温泉街の分節によるきめ細かな施策の展開（地区毎の施策）	36
3-1. 温泉街の構造再編の考え方	36
3-2. 温泉街の回遊ネットワーク整備の施策	42
3-3. 鬼怒川温泉駅周辺地区の再編整備のイメージ.....	47
3-4. 旧温泉街地区の再編整備のイメージ.....	51
3-5. 鬼怒川公園駅周辺地区の再編整備のイメージ.....	55
4. 継続的な情報収集とフォローアップ.....	59
■ 施策図.....	61

□資料編

□資料 1. 現状把握

1) 現状の整理.....	1-1
(1) 藤原町の概要.....	1-1
(2) 鬼怒川・川治温泉の概要	1-7
(3) 観光の動向	1-12
2) 地元最新情報の把握.....	1-33
(1) 地元の取り組み状況	1-33
(2) 地元委員ブレインストーミング（再生コンセプト立案）	1-35

□資料 2. フィールドワーク

1) モニタリング調査	2-1
(1) アンケート調査の結果について	2-1
(2) 宿泊客へのアンケート	2-7
(3) 潜在的顧客へのアンケート	2-44
(4) 地元アンケート	2-73
(5) 福島空港利用ツアーの社会実験	2-89
2) 温泉街再生の社会実験とモデルスタディ	2-94
(1) 空店舗を活用した温泉街の回遊促進の社会実験の支援	2-94
(2) 温泉街再生のモデルスタディ（長期施策）	2-107

□資料 3. 調査実施体制

1) 検討体制.....	3-1
2) スケジュール.....	3-1
3) 検討スキーム.....	3-2
4) 委員会名簿.....	3-3

□資料 4. 会議記録

- 1) 第1回国土施策創発調査検討委員会（合同会議） 4-1
 - 2) 第1回広域交流作業部会・第1回景観計画作業部会（合同会議） 4-9
 - 3) 第2回国土施策創発調査検討委員会 4-13
 - 4) 第2回景観計画作業部会 4-22
 - 5) 第2回広域交流作業部会 4-31
 - 6) 第3回国土施策創発調査検討委員会 4-38
-

□資料5. その他

○地域再生マネージャーによるコメント
